

## 19: GVHD 予防法と GVHD

### 1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 村田 誠	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
足立 壮一	京都大学医学研究科	人間健康科学系専攻
池亀 和博	兵庫医科大学病院	血液内科
磯山 恵一	昭和大学藤が丘病院	小児科
稲本 賢弘	国立がん研究センター中央病院	造血幹細胞移植科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
大島 久美	広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター	血液・腫瘍内科研究分野
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 剛二	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター血液腫瘍科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
木藤 克之	滋賀医科大学附属病院	無菌治療部
酒井 リカ	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	腫瘍内科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
高見 昭良	愛知医科大学内科学講座	血液内科
田中 淳司	東京女子医科大学病院	血液内科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
東梅 友美	ミシガン大学	
仲宗根 秀樹	Stanford University School of Medicine	Division of Blood and Marrow Transplantation
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
中根 孝彦	大阪市立大学医学部附属病院	血液内科・造血細胞移植科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
古川 達雄	長岡赤十字病院	血液内科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
森 毅彦	慶應義塾大学病院	血液内科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科
綿本 浩一	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
豊嶋 崇徳	北海道大学病院	血液内科
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
梅田 雄嗣	京都大学大学院医学研究科	発達小児科学

小林 真一	防衛医科大学校病院	血液内科
近藤 忠一	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
杉田 純一	北海道大学病院	血液内科
高松 博幸	金沢大学医薬保健研究域医学系細胞移植学	血液内科
西田 徹也	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
伊藤 歩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
西森 久和	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	血液・腫瘍・呼吸器内科学
大中 貴史	小倉記念病院	血液内科
後藤 守孝	東京医科大学病院	血液内科
森下 剛久	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
松岡 賢市	岡山大学病院	血液・腫瘍内科
岡村 郁恵	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
豊崎 誠子	東海大学医学部内科学系	血液腫瘍内科
福島 健太郎	りんくう総合医療センター	血液内科
新井 康之	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科

## 2. 承認研究の進捗状況(2014年1月-12月 ※JSHCT2015を含む)

19-1	「シクロスポリンおよびタクロリムスによるGVHD予防法の比較検討」 PI:酒井リカ	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績: 投稿中
19-2	「血液悪性腫瘍に対する同種造血細胞移植における抗リンパ球グロブリンの臨床的検討」 PI:加藤剛二	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績:
19-3	「前処置別の急性GVHDのリスク因子解析」 PI:仲宗根秀樹	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		
論文業績: Nakasone H, Fukuda T, Kanda J, Mori T, Yano S, Kobayashi T, Miyamura K, Eto T, Kanamori H, Iwato K, Uchida N, Mori S, Nagamura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Teshima T, Murata M; on behalf of the GVHD working group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Impact of conditioning intensity and TBI on acute GVHD after hematopoietic cell transplantation. <i>Bone Marrow Transplant.</i> (in press).		
19-5	「既存データを用いた年齢別の急性GVHD発症後の予後の検討」 PI:中根孝彦	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		
論文業績: Nakane T, Fukuda T, Kanda J, Taniguchi S, Eto T, Ohashi K, Nakamae H, Kurokawa M, Mori T, Morishima Y, Nagamura-Inoue T, Sakamaki H, Atsuta Y, Murata M. Age influences post-GVHD non-relapse mortality in adults with acute GVHD of varying severity following allogeneic hematopoietic cell transplantation. <i>Leuk Lymphoma.</i> (in press).		
19-6	「急性GVHDに対するステロイド一次治療の成績」 PI:村田誠	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)
19-7	「GVHDとTMAの関連性の検討」 PI:吾郷浩厚	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績:
19-8	「既存データを用いた臓器別慢性GVHDの発症様式、発症頻度、予後の解析」 PI:諫田淳也	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)
19-9	「一元化管理事業データに基づく造血幹細胞移植後の閉塞性細気管支炎の解析」 PI:仲宗根秀樹	
学会発表: 済(WG研究業績一覧参照)		論文業績: 済(WG研究業績一覧参照)

19-10	「GVHD と GVL 効果に対するドナーとレシピエントの性別の影響」 PI: 大島久美
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
19-11	「臍帯血移植における GVHD 発症と GVL 効果の相関に関する研究」 PI: 諫田淳也
学会発表: Kanda J et al. 2015 Tandem Meetings, Feb 11-15, 2015, San Diego, USA. 論文業績:	
19-17	「ガンマグロブリン予防投与の有無が GVHD 等の造血幹細胞移植成績に及ぼす影響: 後方視的解析」 PI: 高松博幸
学会発表: 論文業績:	
19-19	「小児急性骨髄性白血病同種移植症例におけるシクロスポリン持続点滴法と分割静注法の有効性と安全性の比較検討」 PI: 梅田雄嗣
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績: Umeda K, Adachi S, Tanaka S, Ogawa A, Hatakeyama N, Kudo K, Sakata N, Igarashi S, Ohshima K, Hyakuna N, Chin M, Goto H, Takahashi Y, Azuma E, Koh K, Sawada A, Kato K, Inoue M, Atsuta Y, Takami A, Murata M; on behalf of the GVHD Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Comparison of continuous and twice-daily infusions of cyclosporine A for graft-versus-host-disease prophylaxis in pediatric hematopoietic stem cell transplantation. <i>Pediatr Blood Cancer.</i> (in press).	
19-21	「ステロイド抵抗性急性 GVHD に対する ATG 治療の成績」 PI: 村田誠
学会発表: 論文業績:	
19-22	「同種臍帯血移植における至適免疫抑制療法に関する後方視的検討」 PI: 寺倉精太郎
学会発表: 論文業績:	
19-23	「血液悪性腫瘍患者における初回同種造血幹細胞移植後の II 度以上急性 GVHD 発症時期別リスク因子と予後に関する研究」 PI: 後藤守孝
学会発表: 論文業績:	
19-24	「肝臓急性 GVHD 発症リスクの解析」 PI: 新井康之
学会発表: Arai Y et al. 2015 Tandem Meetings, Feb 11-15, 2015, San Diego, USA. 論文業績: 投稿中	

### 3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014/1/12	国立がん研究センター 中央病院	各研究課題の進捗状況の報告、二次調査を要する研究についての議論など
2014/7/6	名古屋第一赤十字病院	各研究課題の進捗状況の報告など

### 4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで)

( 933 ) 回

### 5. WG の今後の活動方針・抱負など

当 WG では発足当初よりメンバー間で活発かつオープンな議論がなされています。各研究課題は精力的に進められており、開設以来これまでに 6 編の欧文論文が受理され 2 編の欧文論文が現在投稿されています。今年度に新たに加わったメンバーからも早速新しい研究が提案され、一部は既に学会発表に至るものもあります。また GVHD に関する TRUMP データについてより適切な調査項目への変更の提案も行っています。引き続き、新メンバーの加入を歓迎いたします。